

BONE COLLECTING DEVICE

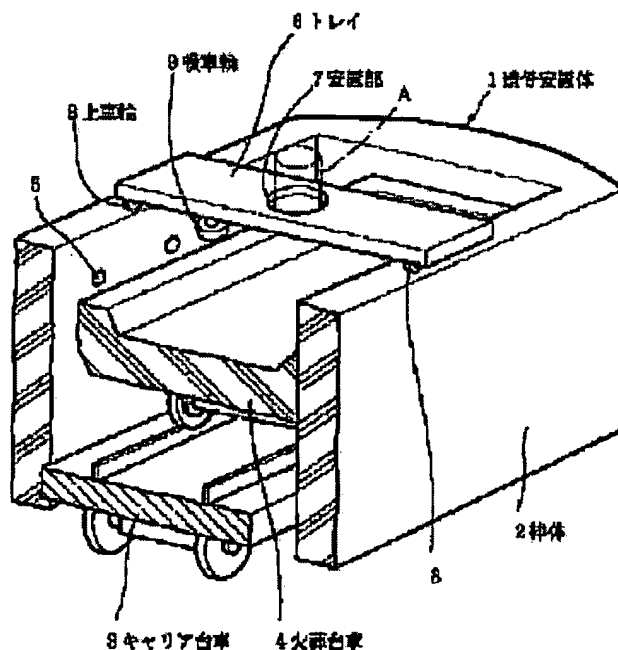
Publication number: JP10103627
Publication date: 1998-04-21
Inventor: YOSHIDA YASUHARU
Applicant: MIYAMOTO KOGYOSHO KK
Classification:
- **international:** F23G1/00; F23G1/00; (IPC1-7): F23G1/00
- **european:**
Application number: JP19960253232 19960925
Priority number(s): JP19960253232 19960925

Report a data error here

Abstract of JP10103627

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable bone collecting positions to be instructed in sequence when bone collecting operation is carried out and further to enable bone collecting operation to be performed regularly.

SOLUTION: This device comprises a tray 6 mounted in a crossed state in respect to a longitudinal direction of bone placing member 1 on an upper surface of bone placing member 1 such as either a carrier boggie 3 for transporting a cremation boggie 4 or a frame 2 constituting bone collecting station installed in bone collecting chamber, a placing section 7 for placing bone pot on the tray 6, and further upper wheels 8 running on the upper surface of the bone placing member 1 toward its longitudinal direction and lateral wheels 9 running similarly on the side surfaces of the bone placing member 1 in a longitudinal direction.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-103627

(43)公開日 平成10年(1998) 4月21日

(51)IntCl.⁶

F 2 3 G 1/00

識別記号

F I

F 2 3 G 1/00

J

Z

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平8-253232

(22)出願日 平成8年(1996) 9月25日

(71)出願人 000141808

株式会社宮本工業所

富山県富山市奥田新町12番3号

(72)発明者 吉田 安治

富山県富山市奥田寿町12番3号 株式会社
宮本工業所内

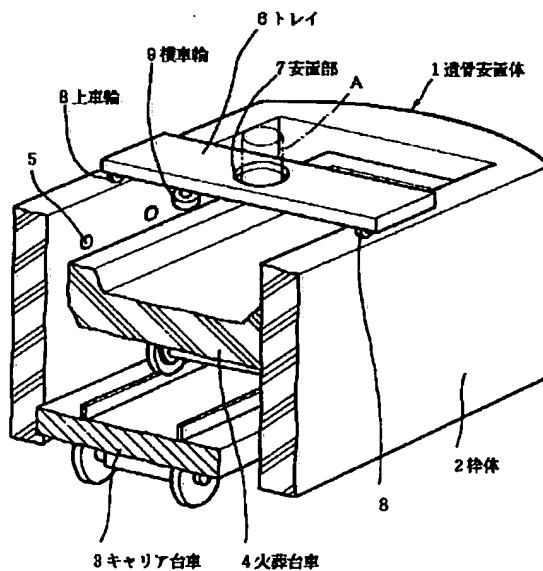
(74)代理人 弁理士 宮田 信道

(54)【発明の名称】 収骨装置

(57)【要約】

【課題】 収骨される際に、収骨すべき位置を順次指示することができ、整然と収骨が遂行されるようにする。

【解決手段】 火葬台車4を搬送するキャリア台車3または収骨室に設けている収骨ステーションを構成する枠体2などの遺骨安置体1の上面に、該遺骨安置体1の長手方向に対して直交して載置するトレイ6からなり、該トレイ6に骨壺を載置する安置部7を備えると共に、遺骨安置体1の上面をその長手方向に向かって走行する上車輪8と、遺骨安置体1の側面を同じく長手方向に向かって走行する横車輪9とを設けていることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 火葬台車(4)を搬送するキャリア台車(3)または収骨室に設けている収骨ステーションを構成する枠体(2)などの遺骨安置体(1)の上面に、該遺骨安置体(1)の長手方向に対して直交して載置するトレイ(6)からなり、該トレイ(6)に骨壺を載置する安置部(7)を備えると共に、遺骨安置体(1)の上面をその長手方向に向かって走行する上車輪(8)と、遺骨安置体(1)の側面を同じく長手方向に向かって走行する横車輪(9)とを設けていることを特徴とする収骨装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、キャリア台車に載せた火葬台車上から収骨する場合、あるいは火葬台車を載せたキャリア台車を収骨室内に枠体で囲まれている収骨ステーションに入れて収骨する場合などに使用する収骨装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、収骨室に収骨ステーションが無い葬祭場では、キャリア台車で運ばれて来た火葬台車から直接収骨されるものであり、また収骨ステーションが設置してある場合には、火葬台車を載置したキャリア台車を収骨ステーションを構成する枠体内に挿入し、枠体に設けた冷却装置を駆動して収骨が行われるものであり、何れの場合でも、骨壺は一般に火葬台車のほぼ中央部に安置して行われるものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、以上のように収骨する際には、一般に係員が、遺体の足下の遺骨から胸そして頭部へと順次収骨するように指示するが、収骨者がキャリア台車あるいは収骨ステーションの枠体の周りに立ち、そのまま収骨されることが多く、係員の指示に従われず、雑然と収骨されることが多くあった。

【0004】本発明は以上の問題を解消して、係員の指示が徹底され整然とした状態で収骨ができる収骨装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明による解決手段は、火葬台車を搬送するキャリア台車または収骨室に設けている収骨ステーションを構成する枠体などの遺骨安置体の上面に、該遺骨安置体の長手方向に対して直交して載置するトレイからなり、該トレイに骨壺を載置する安置部を備えると共に、遺骨安置体の上面をその長手方向に向かって走行する上車輪と、遺骨安置体の側面を同じく長手方向に向かって走行する横車輪とを設けていることを特徴とする。

【0006】

【作用】トレイには上車輪と横車輪とを備えているから、トレイが遺骨安置体の上面を逸脱することなく摺動

することができるから、トレイを収骨する位置へ移動して行くことにより、トレイの安置部に載置した骨壺へ順序良く納めることができるようになる。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明による実施形態は、遺骨安置体(キャリア台車または収骨ステーションの枠体を指す)上に、該遺骨安置体の長手方向に向かって摺動するトレイによって構成するもので、該トレイに骨壺を安定して載せる安置部と、遺骨安置体の上面を走行する上車輪と、逸脱を防止する横車輪とを設けるものである。

【0008】

【実施例】更に本発明を具体的に説明すると、遺骨安置体1として収骨ステーションに設けた例を図1に示しているように、収骨ステーションは平面より見てコ字状をなす一方を開放した枠体2で形成されているもので、該枠体2の内周面に、キャリア台車3上に載置された火葬台車4の上面より発散する熱気を吸収する吸込口5を有するものである。

【0009】上記収骨ステーションからなる遺骨安置体1の上面に沿って摺動するトレイ6は短冊状に細長い板体で形成してあって、その長手方向が枠体2の長手方向と直行するように載置するもので、トレイ6の表面中央部に骨壺Aを安定して不動状態に載置できる安置部7を、トレイ6の表面より陥没した凹部によって、あるいはトレイ6の表面に固着した枠部によって設けている。

【0010】更に、トレイ6が枠体2より逸脱することなく長手方向に安定して摺動できるように、トレイ6の裏面両端部に枠体2の上面を走行する上車輪8を設け、且つ枠体2の内面に沿って走行する横車輪9を垂設したものである。

【0011】一方、キャリア台車3を遺骨安置体1として用いる場合のトレイ6は、前記例のトレイとほぼ同様であるが、トレイ6の両端部にキャリア台車3の外側壁10の外面を覆う垂下片11を設け、同様に安置部(図示省略)、上車輪8及び横車輪9が設けてあり、横車輪9は前記垂下片11に取り付けたものである。

【0012】以上の構造であるから、火葬済みの火葬台車4をキャリア台車3に載せて収骨室へ搬送し、そこで収骨が行われる際、収骨ステーションの枠体2内にキャリア台車3を挿入し、安置部7に骨壺Aを載置しているトレイ6を遺骨の足下へ移動することにより、骨壺Aが置かれている周囲の遺骨から収骨され、トレイ6を順次頭部へと移動することにより整然とした状態で収骨がなされるものである。

【0013】また前述の収骨ステーションが無い場合には、キャリア台車3に既にトレイ6を備えておくもので、そのトレイ6を前述と同様に移動しながら収骨を行うものである。

【0014】

【発明の効果】本発明による収骨装置によれば、遺骨安

3

4

置体の上面にトレイを遺骨安置体の長手方向に沿って摺動自在に設け、トレイに設けた安置部に骨壺を載置したものであって、トレイを収骨する位置へ移動することができることから、従来からの慣例に従って遺骨を順序良く収骨することができるようになるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による収骨装置を遺骨安置体に設置した状態で示す斜視図である。

【図2】同じく平面図である。

【図3】トレイの裏面図である。

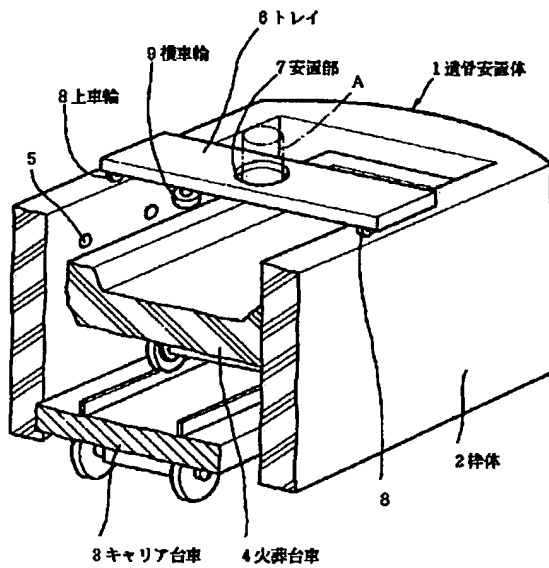
【図4】本発明による収骨装置の類例を遺骨安置体に設

置した状態で示す断面図である。

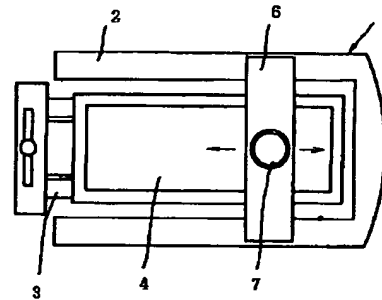
【符号の説明】

- 1 遺骨安置体
- 2 枠体
- 3 キャリア台車
- 4 火葬台車
- 6 トレイ
- 7 安置部
- 8 上車輪
- 9 横車輪
- 10 横車輪

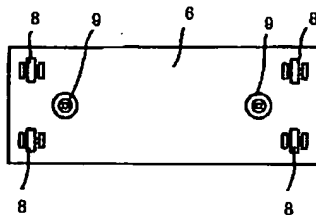
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

